

1. 防災・減災、国土強靱化、 社会資本整備重点計画について

重点目標の概要について

コンパクトで活力ある魅力的な地域づくり

<目標達成により目指すべき姿> 人口減少の中で、安全・安心の確保を前提として、多様な地域が、それぞれの個性や魅力を発揮しつつ、生活サービスを維持できる持続可能な社会を実現。

豊かで暮らしやすい地域社会の実現

・コンパクトなまちづくりと、これと連携した交通ネットワーク形成により、高齢者や子育て世帯等の多様な世代が生活し、人口減少も見据えた持続可能な都市構造を構築するとともに、関係人口の増大によりヒト・モノの交流を促進し、住民が誇りを持つ魅力あふれる地域を形成するための基盤整備を推進。

■ 持続可能でコンパクトなまちづくりと自立した地域コミュニティの形成

コンパクトシティ

立地適正化計画

○都市機能誘導区域
生活サービスを誘導するエリアと当該エリアに誘導する施設を設定

○居住誘導区域
居住を誘導することで、人口減少化でも人口密度を維持するエリアを設定

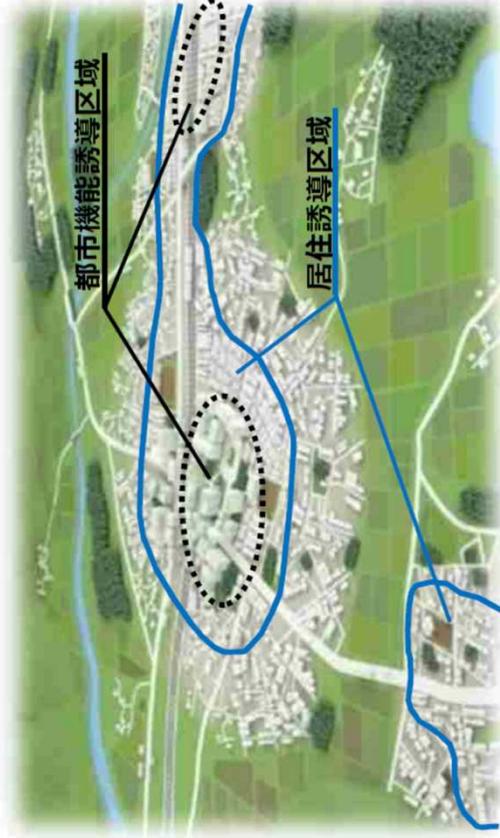
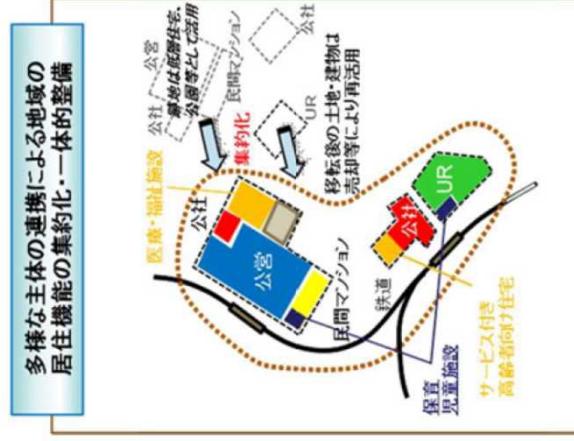
ネットワーク

地域公共交通計画

まちづくりと連携し、地方公共団体が中心となった地域公共交通ネットワークの形成を促進

地域公共交通利便増進実施計画

ダイヤ・運賃等の調整による公共交通サービスの改善を図るために具体的に取組む



■ 地域間の交流促進による活力ある経済・生活圏の形成



速達性、定時性、輸送力を持つ公共交通システムへの転換により、中心市街地の活性化等を推進



SA・PA等に接続し、地方公共団体が主体となって整備するETC専用のスマートインターチェンジ



民間投資・雇用の誘発や集積した産業の物流効率化等に資する港湾の機能強化

公的賃貸住宅団地を効率的に建替え、余剰地へ子育て支援や福祉の施設を導入

安全・安心の確保	持続可能な地域社会の形成	経済成長の実現
重点目標 1	重点目標 6	
	重点目標 5	
	重点目標 3	重点目標 4
	重点目標 2	

安全な移動空間の整備

・生活空間の安全・安心の確保のため、適切な歩行空間の確保など、便利で安全な移動空間を整備。

■ 生活空間における子どもや高齢者などの安全・安心の確保



ハンブの設置



信号灯器のLED化

■ 人流・物流を支える公共交通の安全・安心の確保



視覚障害者誘導用ブロックやホームドアの整備

現在検討中の
主なKPI例

○立地適正化計画を作成する市町村数
○ホームドアの整備駅数

○公共交通の利便性の高いエリアに居住している人口割合
○低床式路面電車の導入割合

○道路交通における死傷事故の抑止(率/件数)

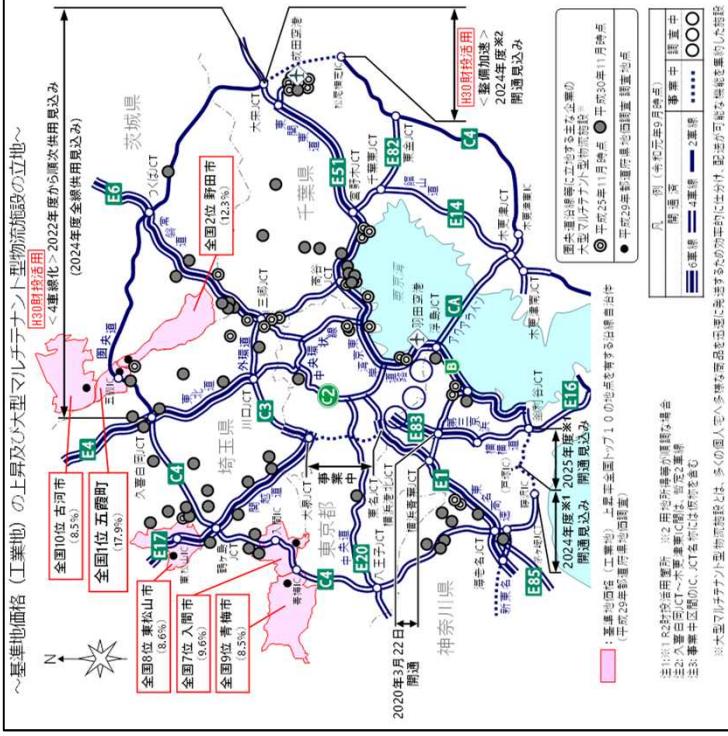
人流・物流の促進による経済の成長力の底上げ

<目標達成により目指すべき姿> 生産性の向上や民間投資の促進により、経済の好循環を持続・拡大させるとともに、我が国の都市や地域の可能性を引き出し、国際的な競争力やプレゼンスの向上を実現。

経済の好循環を支える基盤整備

・物流コストの低減や労働時間の短縮など、生産性向上に資する人流・物流ネットワークの整備を推進。また、国内外、都市部と地方部との交通円滑化に資する空港・港湾等のゲートウェイ拠点の整備を推進。

産業を支える人流・物流ネットワークの整備



三大都市圏等の環状道路の整備



国際コンテナ戦略港湾政策における集貨

都市の国際競争力の強化

・都市の国際競争力の強化に向けて、官民連携による都市開発プロジェクトの推進など、都市の可能性を引き出す基盤整備を推進。

都市の可能性を引き出す基盤整備

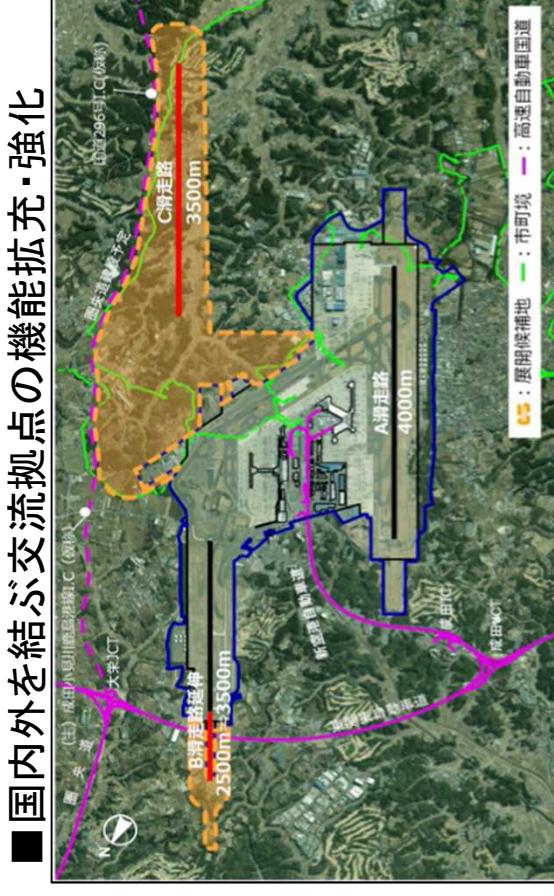


グローバルレベルでヒト・モノ・カネを呼び込む力や防災力の向上を推進

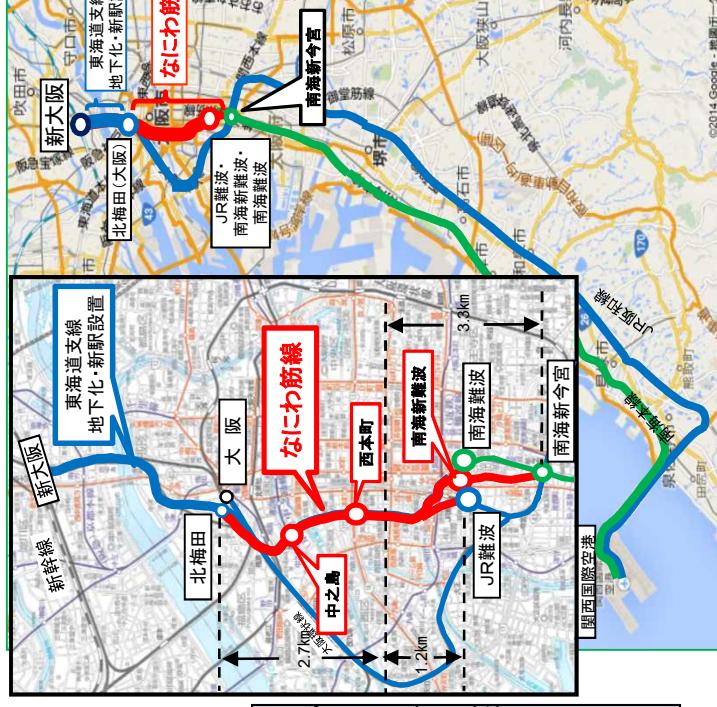
経済成長につなげる民間のビジネス機会の拡大

・官民一体となったトップセールス展開、「質の高いインフラ」の戦略的発信等により、インフラシステムの海外展開を推進。

PPP/PFIや海外インフラ展開等による官民連携の推進



成田国際空港におけるC滑走路の新設に向けた基本計画の改定



なにわ筋線の整備により、大阪都心部と関西国際空港とのアクセスを改善し、訪日外国人旅行者などの利便性を向上

安全・安心の確保	持続可能な地域社会の形成	経済成長の実現
重点目標1	重点目標6	
	重点目標5	
	重点目標3	重点目標4
	重点目標2	

現在検討中の
主なKPI例

○三大都市圏環状道路整備率
○我が国に寄港する国際基幹航路の輸送力

○首都圏空港の国際線就航都市数
○旅客施設における多言語対応率

○我が国企業のインフラシステム関連海外受注高
○東京、大阪、福岡の主要地区の地価の増加割合

情報技術の活用・新技術の社会実装によるインフラの新たな価値の発現

<目標達成により目指すべき姿> 情報技術の活用や新技術の社会実装等による社会資本整備分野でのデジタル化・スマート化を推進し、社会資本の整備・維持管理を効率化・高度化させるとともに、データ活用等を通じたインフラの機能の高度化により、インフラの新たな価値を発現。

インフラの整備・維持管理プロセスの効率化・高度化

・情報技術・新技術を活用することで、社会資本整備やインフラメンテナンスの高度化・効率化を推進する。また、社会資本整備やインフラメンテナンスを通じて得られる様々なデータを整備し、他分野のデータとの連携を推進する。

■新技術等の社会実装による社会資本の整備・維持管理の生産性向上 i-Constructionの推進



インフラ分野のデジタルトランスフォーメーションの推進

5G等を活用した無人化施工技術開発の加速化 (Acceleration of unmanned construction technology development using 5G, etc.)

リアルデータを活用したICT環境を整備し、「現場・実地」から「非接触・リモート」に転換技術開発の推進 (Promotion of technology development for converting from on-site/real to non-contact/remote using ICT environment with real data)

インフラの機能の高度化による課題解決・価値創出

・新技術や官民データの活用によりインフラの機能の高度化を推進するとともに、先端技術の普及・促進を促すようなインフラ整備を推進することにより、Society5.0の実現を図る。

■新技術や官民データを活用したインフラの機能の高度化

「ヒトを支援するAIターミナル」の実現

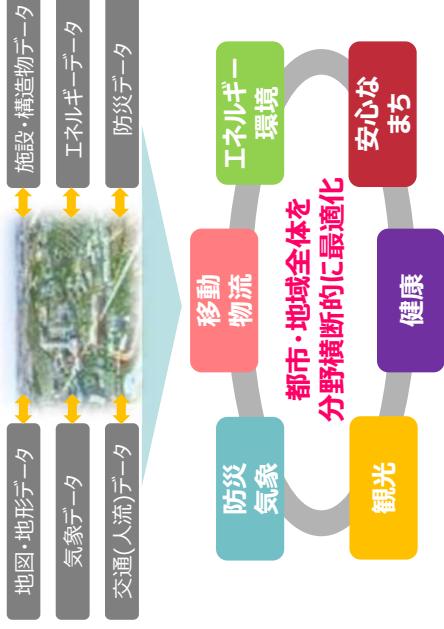
オペレーター (Operator)

遠隔操作RTG (荷役機械) (Remote control RTG (handling machinery))

管理棟からRTGを遠隔操作 (Remote control RTG from the control building)

取組例)遠隔操作RTG(荷役機械)による荷役作業イメージ (Example of remote control RTG (handling machinery) for handling work)

スマートシティの推進



■イノベーションを促すインフラ空間の活用

自動運転の推進に向けた道路施設の整備



■インフラデータ等の整備・連携 国土交通データプラットフォームの整備

国土交通データプラットフォーム4.0

連携 (Synergy)

経済活動に関するデータ (公共交通データ、港湾関連データ等) (Data on economic activities (Public transport data, port-related data, etc.))

自然現象に関するデータ (気象データ等) (Data on natural phenomena (Weather data, etc.))

位置情報でひもづけ (位置情報データ) (Linking with location information (Location information data))

連携 (Synergy)

構造物データ (Infrastructure data)

地盤データ (Geotechnical data)

基礎地図 (Basic map)

現在検討中の
主なKPI例

- インフラデータプラットフォームと連携するデータベース数
- 「ヒトを支援するAIターミナル」の取組の導入港数

○スマートシティモデル事業により、技術を社会実装した自治体数

インフラ空間の多面的・複合的な利活用による生活の質の向上

<目標達成により目指すべき姿> 自然環境の機能を最大限活用するとともに、インフラを多面的・複合的に利活用することにより、あらゆる人に親しまれるインフラ空間を提供し、美しい景観と良好な環境にあふれた、快適で質の高い生活を実現。

自然環境の活用

・自然環境の多様な機能を活用し、自然環境との調和により、生活の質の向上、防災力の強化等を目的としたグリーンインフラを推進

■ 自然環境の機能を活用した国土・地域づくり



透水性・保水性
舗装、植樹ます

雨水貯留・浸透等の機能を持つ歩行空間



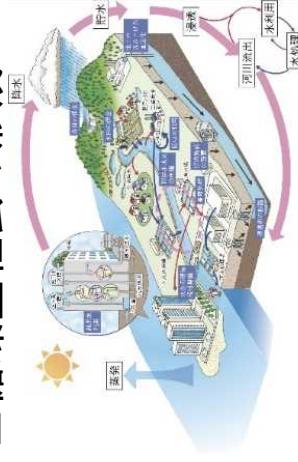
雨水を一時的に貯めてゆっくり地中へ浸透させ、
水質浄化や修景機能も併せ持つ「雨庭」



都市公園

都市公園や都市緑化等による生活環境の改善

■ 循環型社会の形成



■ 地球温暖化緩和策の推進

再生可能エネルギーの利活用



既設の路面電車の軌道敷を芝生化

健全な水循環の
維持又は回復

現在検討中
の主なKPI例

- グリーンインフラの取組を事業化した自治体数
- 洋上風力発電促進区域における運転開始事業数
- 都市緑化等による温室効果ガス吸収量

安全・安心の確保

持続可能な 地域社会の形成

経済成長の実現

重点目標1	重点目標3	重点目標4
重点目標2	重点目標5	重点目標6

人を中心に据えたインフラ空間の見直し

・価値観やライフスタイルの多様化に対応するとともに、地域の魅力を高めるために、インフラを多面的・複合的に活用し、インフラに新たな価値を創出

■ 地域の魅力を高めるインフラ空間



公園を芝生や民間カフェ設置で再生



人々の賑わいや交流を作り出す「みなと」



ダムを活用したインフラツーリズムの推進



道の駅第3ステージの推進
(子育て応援施設の併設等)



水辺や公園などと一体となった、
にぎわいあるまちの創出



「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出

■ 利用者目線で使いやすいインフラ空間



多様なニーズに応える道路空間



安心・安全な歩行空間の整備



心のバリアフリー（車いすサポート体験等）

○水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市区町村の数

○みもとオアシス登録数

○公共施設等のバリアフリー化率